

~がんばる船高生~ **ATTENTION!**

第42回 東京都市大学理工学部に合格! 宗像大真さん



今回は、「東京都市大学 理工学部 原子力安全工学科」に総合型選抜* 原子力人材入試で合格を決めた宗像大真さん(3年 船引南中出身)に話を聞きました。
※総合型選抜…大学入試の入試区分の1つ。志願者の表現力や意欲などの評価を重視した選抜方法。旧AO入試に学力を測る指標を含めたもの。

— 東京都市大学を志望した理由は?

宗像さん 小学生の時に東京都市大学の教授による原子力についての出張講義を受けて、怖いとばかり思っていた放射線が医療分野で有効活用されていることに驚きました。そして、資源の少ない日本で原子力発電を続けていくならば、二度と事故が起こらないように技術向上による安全性の確保が必要だと考え、原子力開発研究に特化したこの大学を志望しました。

— 受験に向けて大変だったことは何ですか?

宗像さん 「原子力発電所の現状と課題」をテーマに4,000字の事前課題レポートを完成させるのが大変でした。原子力に関する書籍や資料を読み込み、レポートを書いて物理の先生に添削してもらって書き直すことを3カ月間繰り返しました。

— 合格した時の気持ちはどうでしたか?

宗像さん 入試までに積み重ねた努力が報われたことや、小さい頃からの夢のスタートラインに立てたことをうれしく感じました。また、受験をサポートしてくれた両親や課題レポートや面接の対策をしてくれた先生方への感謝の気持ちを強く持ちました。

— 入学後に勉強したいことや、将来の目標は何ですか?

宗像さん 将来は原子力開発機構で原子力発電の研究・開発に携わりたいと考えています。また、福島第一原子力発電所での廃炉が安全に進んでいくために、放射性廃棄物を安全に取り出すことや少なくすることについても研究したいです。そのために受験が終わった今も、数学や物理の学習を継続しています。

— 大学進学を目指す後輩たちへのアドバイスをお願いします。

宗像さん 小さいころから原子力を研究したいという気持ちはありましたが、原子力を専門的に学べる大学は少ないので進路について悩んでいた時期がありました。しかし、2年生の1月に進路面談で先生から夢に挑戦した方がいいと背中を押していただき、志望校を決定しました。「もっと早く決めていれば…」と思うので、後輩たちには諦めないでチャレンジすることと進路を早めに決めることをアドバイスしたいです。

◆デュアル成果発表会の開催について

本校の特徴的な教育活動であるデュアル実習は、本校と田村市、地元企業が連携して生徒を育てる教育制度です。生徒は授業の一環として、週に1回、一年間を通して市内の企業や施設で実習します。今年度はコロナ禍により実習開始が遅れましたが、地元企業・施設の皆さまのご協力をいただき1年間の実習を無事終えることができます。1年間の学習を振り返り、生徒によるデュアル実習成果発表会を2月19日(金)に行います。例年は自由に参観いただいていたのですが、今般の感染拡大防止の観点から今年度は関係者のみで実施させていただきます。発表会の様子は本校ホームページに掲載いたしますので、是非ご覧ください。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp



Anselm Wooden
アンセルム・ウデンさん
(アメリカ合衆国
インディアナ州出身)
田村市に来て1年目

バレンタインデー

2月14日のバレンタインデーは世界中で祝われます。

アメリカでは、バレンタインデー・カード、チョコレート、甘いお菓子、食事、その他の贈り物などに約20億ドルが費やされ、平均すると大人1人当たり100ドル以上になります。毎年2億枚近くのバレンタインデー・カードがアメリカの大人の間だけでも贈られています。バレンタインデーに贈られるチョコレート、甘いお菓子、カード、その他の贈り物は、簡単に「valentines」(バレンタインズ)と呼ばれています。バレンタインのチョコレートにはいろいろな種類と形があります。Sweethearts、(スイートハーツ)は、おそらく最も有名なバレンタインのお菓子で、文字が描かれている小さなハート型のシュガー・キャンディー

です。毎年、何十億個と作られています。カードにはよく、「Be my valentine」(私のバレンタインになってください)という表現が使われ、この場合「valentine」は恋人や特別な人のような意味を表わしています。

学生時代、小学1、2年生の時から男子も女子もクラスのほとんどの生徒とバレンタインの交換をしたことを懐かしく思い出します。アメリカの小学生は、先生方やクラスの多くの生徒(時には全員)にバレンタインを贈ります。実際、最近の先生方は同級生にバレンタインを贈ることを生徒たちに勧めています。先生方もたいして生徒たちからバレンタインを受け取るので、大人たちのバレンタインに加えて何億ものバレンタインが学校で交換されているに違いありません。

アメリカと日本のバレンタインの祝い方には三つの大きな違いがあると思います。一つ目は、アメリカでは主に女性が贈り物をする日ではあります。男性も女性がするようカード、チョコレートや他の贈り物を贈ります。二つ目は、小さな子どもたち

もバレンタインを贈ります。三つ目は、いつもロマンチックとは限りません。明らかに、小学生には当てはまりませんが、大人でさえ時には友人や家族にバレンタインを贈ります。また、ペットにプレゼントを買うためにバレンタインデーを言い訳として使う人もいます。もちろん、世界中でいろいろなバレンタインがあると思います。が、どんな時でも自分がその人のことを気にかけていることを伝えるには良いタイミングだと思います。



「たむら市政だより」の記事が ネット検索でヒットします!



たむら市政だよりの情報をもっと簡単に知ってもらえるよう、「マイ広報紙」で配信をはじめました。マイ広報紙では、パソコンやスマートフォンから市政だよりの文章のみを読むことができます(PDF版を選択することで画像付きを読むこともできます)。また、知りたい情報をキーワード検索することで、必要な情報をすぐ知ることができます。ぜひご利用ください。



▲「マイ広報紙」はこちら